



北海道

# 高P連だより

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番 第二北海道通信ビル7F  
TEL (011) 232-0007 FAX (011) 232-0006  
URL : <http://www.hokkaido-koupren.com/>

今号の内容

- ▶ シリーズ北の志
  - ・北見藤女子高等学校
  - ・北海道鹿追高等学校
  - ・北海道千歳高等学校
  - ・北海道富良野高等学校
- ▶ 道高P連大会道南大会
- ▶ 全国高P連大会千葉大会
- ▶ トピック 釧路高校

北見藤女子高等学校

北見藤女子のスローガン  
「学校は、心だ。」



北海道鹿追高等学校



七夕の飾り付け



【国際理解教育】  
カナダアルバータ州ストニブレイン町訪問団との交流

## Heart to Heart 北の志

—ひたむきに頑張る君たちを応援したい—

北海道千歳高等学校

全日制、定時制 千歳高校で夢をかなえる!



海外交流生徒・千歳高校(ちこう)  
ゆるキャラ「ちこウッキー」と一緒に



定時制学校祭「鶴翼祭」  
恒例フォークダンス

北海道富良野高等学校

保護者や地域と共に  
歩む単位制高校



学校設定教科「表現」の授業

北見藤女子高等学校

教頭 堀 俊一

● 本校の概要

1956年北見市の要請により、北見市役所を仮校舎として、開校しました。現在、卒業生は一万人を超え、カトリックの女子校、道東唯一の私学として、「学校は、心だ。」をキャッチフレーズとして活動しています。

● キャリア教育

国際化が進む中、生活やビジネス、国際交流の場において必要不可欠な国際儀礼について、総合的な学習の時間に学んでいます。取り組みを始めて3年目、アクティブコース2年生62名が受験した、「マナー・プロトコル検定」の結果、今年6月に、2015年度マナー・プロトコル検定成績優秀校として表彰されました。

● 商品開発

北見市と高知市の姉妹都市提携30周年を記念して、両市の特産物を利用した商品開発を、北見市と関係の皆さんのご協力を得ながら、本校が行うこととなりました。「互いの産物と食文化が一つになることで、姉妹都市のきずなが、いっそう強まり、オホーツクを明るくしたい。」をコンセプトに、来年1月の完成を目指し、オホーツクの小麦や、高知

の土佐茶を利用して商品の開発を進めています。商品開発を通して、生徒達が成長することを願っています。現在3種類の商品を開発しているとのこと。出来上がりが楽しみです。



● すーぱーぶた串

7月に行われている学園祭パザールでは、毎年PTAのお父さんの店で、ぶた串を販売しています。普通のぶた串の3倍はあるかという大きさで、炭火



でしっかりと焼いて、したたる肉汁が大人気です。今年も、500本近くがあつという間に完売しました。煙にまみれて、汗だくで焼いてくれたお父さんたち、美味しかったです。

● イルミネーション点灯式

12月に、アドベント（クリスマスを待つ集い）の行事として、高さ13mの木にイルミネーションを飾り、全校生徒が周りに集まる点灯式を行っています。寒い時期の夕方、校外での行事なので、体が冷えませんが、PTAのお母さんたちの温かい飲み物を用意してくれて助かります。おいしい飲み物の提供、心まであたたまりました。



● PTAだより

本校のPTA広報誌（PTAだより）が選考され、8月に行われた全国大会（千葉大会）で展示されました。担当役員の皆さんが何度も集まり、検討を重ねた結果が実り、全員で喜びました。お世話になった皆さん、ありがとうございました。

北海道鹿追高等学校

教頭 山内 章裕

本校は、昭和25年に清水高校鹿追分校の夜間定時制としてスタートし、昭和27年に北海道鹿追高等学校として独立した、全日制普通科2間口の学校です。平成15年からは町内の2つの中学校との連携型中高一貫教育が本格的に始まりました。

カナダ短期留学派遣制度

鹿追町唯一の高等学校として、町から様々な支援を受けてきた学校です。平成9年から鹿追町主催カナダ短期留学派遣事業が始まり、今年度で第21回目の派遣となります。この事業では、鹿追町と姉妹町であるカナダアルバータ州ストニブレイン町に1年生全員が派遣され、地元の高校生徒やホストファミリーとの交流、日本文化紹介などの国際交流や、カナディア



ンロッキーでの自然体験等のプログラムがあります。また、ストニブレイン町からは、訪問団が鹿追町を訪ねます。今年7月に来校し、1年生の英語の授業に参加し、七夕の飾りを作成しました。

国際理解教育

本校ではストニブレイン町との交流以外にも、国際理解教育を進めています。

3学年のワールドスタディ(総合的な学習の時間)では、JICAの職員を招き、文化交流等を行います。今年6月にバンングラデシュ、エチオピア、フィリピン、ベトナム、ウクライナの5つの国から研修員を招き、和菓子の作り方を英語で紹介し、自分たちで作りました和菓子を試食していただくなど交流を深めました。



伝統行事「完歩大会」

今年で37回を迎える本校の伝統行事、「完歩大会」

を紹介いたします。

「完歩大会」は本校から然別湖畔までの26キロメートルを約6時間で歩く、あるいは走るものです。一般の方からも参加者を募り、今年も、25名程の参加者がありました。男子生徒の第1位は2時間21分、女子生徒の第1位は4時間41分の記録でした。

この行事を実施するにあたり、各方面の協力を得ておりますが、PTAからも多くの方々に協力していただき、交通安全(生活委員会)、関門サービス(環境・保健・総務委員会)、記録(総務委員会)そして豚汁係(厚生・総務委員会)などの業務に、総勢60名以上の保護者の協力をいただきました。

学校・保護者・地域が一体になって実施し、本校の伝統行事になっております。



北海道富良野高等学校

教頭 今井 健 晴

本校は創立91年、地域との繋がりを大切に、文武両道の教育を推進する単位制高校です。その歴史を支える、PTAの主な活動をご紹介します。

◆7月 学校祭への協力

PTA学年委員会を中心に、山車パレードの中間地点での給水等、今年は延べ50名の保護者にお手伝い頂きました。一般公開日の出店では、炭火焼きチキンが絶品！と評判でした。また、富良野GRUOPの俳優の方々に演劇発表の指導をして頂くなど、多くの方々のご支援が学校祭を成功へと導いています。



学校祭 (PTA出店)

◆夏休み 北海へそ祭り  
書道部や茶道部のパフォーマンス、吹奏楽局のパレードの他、ラグビー部が施設への慰問を行っています。



へそ祭り (施設慰問)

◆8月 PTA研修

大学の研究室を見学したり、学食でお昼を食べたり、上級学校での保護者の体験学習等を行っています。

◆9月 交通安全指導

秋の交通安全週間に、生徒と保護者と警察とで街頭に立ち、交通安全を呼びかけます。富良野は観光ドライブが多く、旗を振る手にも力が入ります。

◆11月 PST懇談会

◎親と③生徒と④教職員  
の三者が一堂に会し、その年のテーマに沿って、それぞれの考えを発表します。昨年は、スマホの使い方について話し合いました。互いを理解した上で、学校や



PST懇談会

家庭におけるルールが提案されました。

◆12月 PTA富良野ブロック合同研修会

高校4校(上富良野・南富良野・富良野緑峰・富良野)のPTAが集まり、カーリングや演劇ワークショップ等による交流、子育てに関する研修を行っています。高校間のPTAで、協力し合う体制が引き継がれています。

◆3月 冬季レクリエーションへの協力

名物の雪上運動会です。保護者は、代々引き継がれているレシビをもとに豚汁を作り、生徒へ提供して下さいます。冷えた体がポカポカ温まります。



冬季レク (スノーフラッグ)

その他、PTAだよりの発行等、年間を通して積極的に活動して頂いています。詳細については、本校HPをご覧ください。

北海道千歳高等学校

副校長 西村 友 恵

本校は、昭和23年に季節定時制(分校)として創立し、以来、全定普通科設置を経て、現在は全定普通科、国際流通科(商業)、国際教養科(英語)の3科を有しています。生徒数は1100名を超え、北海道で最多の生徒が通う公立高校となっており、「地域と海外で活躍する国際人」を育む、特色ある教育活動を行っています。

1 国際教育の推進

(1) 姉妹校交流  
本校では2つの国際科だけでなく、全校で国際交流に取り組んでいます。韓国空港高校と米国ジェームスリバー高校とは姉妹校として、毎年それぞれの訪問団が来訪します。本校からも10月に韓国、11月に米国を訪れ、相互に生徒宅でホームステイし、一緒に学校生



韓国空港高校を迎えての歓迎式

活を送ります。

(2) 海外修学旅行の受入

北海道の「空の玄関」千歳には、多くの観光客が訪れます。近年は地元高校生と交流を希望する海外見学旅行生が増え、本校は積極的に受け入れています。今年台湾の高校生が来訪し互いの国や文化、学校生活について交流しました。

また、海外への見学旅行や選択による第二外国語学習(韓国語、中国語)、国際教養科の海外語学研修(カナダ)などを行い、生徒のグローバルな視野を育んでいます。

2 地域社会との連携

(1) 商品開発  
国際流通科3年生は、商業を学ぶ総仕上げとして、地元企業とタッグを組み、商品開発や調査研究を行っています。昨年開発した商品の一つ「日ハムガールズデザインブック型スマホカバー」は1200個以上、約300万円を売上げるなど、多くの人に愛される商品となりました。

(2) 千歳burger project

地域活性化を目指す千歳バーガー協議会に協力し、国際教養科では外国人観光客にPRするプロジェクトを展開しています。自国と世界の食文化の学習の一環で、千歳の観光促進に一役買っています。



札幌ドームでのスマホカバー販売

3 PTAの取組

10名の役員を中心に、各学年、総務、教養、生活委員会から成る本校PTAの特長の一つは、国際交流への積極的参加です。

韓国空港高校との交流では訪問団に加わり、PTA同士の交流会を毎年両国で開催します。また、学校祭では、現役PTAのカレーライスに加え、PTA・OB・OGが韓国料理を提供する店を出し、生徒や保護者、地域の方に、毎年大人気です。



現役PTAとOB・OGによる出店

今後も様々な取組とおし、生徒の夢を叶える教育を実践してまいります。

# 第66回北海道高等学校PTA連合会大会道南大会



道高P連道南支部長 三浦 由貴子  
(遺愛女子高等学校PTA会長)

平成28年度の第66回道高

ジのもと始まりました。

### 【開会式】



P連大会道南大会が『身近な人と結ぶ信頼の絆』を大会主題に、『抱える課題に一生懸命取り組んでいる各校のPTAの皆様、時に肩の荷を下ろして一息つくことも大切です。異国情緒あふれる街並みを散策し、宝石をちりばめたような夜景を楽しみ、ゆつくり温泉につかり、おいしいイカ刺しに舌鼓を打てる函館で、『まつたり、ゆつたり、ほっこり』しながら語り合います。』の大会メッセージ

開会式では、主催者を代表して山本会長が「今日我が国では国際化・情報化・少子高齢化など、高校生を取り巻く状況は大きく変動している。これからの変化に対応する上で、PTAの役割はますます重要視されております。本大会では、分科会毎にテーマを設け高校生たちの温かい支えになるという共通の思いを胸に本音で接し、その貴重な経験を、各校に持ち帰り、今後のPTA活動に積極的に生かされますようにお願い申し上げます。」と決意を述べた。続いて、遺愛女子高等学校の高橋会長は、「本日は、全道各地から241校1132名の皆様にお出で頂き、本当に有難うございます。道南支部のPTA



が「将来の地域をそして社



会を支える自立した人を育てていく。これを実現するために、学校の中での学びだけでなく家庭や地域における体験、実践を通して学んでいくことが大変重要になります。学校・家庭・地域を結ぶPTAの役割というのは、ますますその重要性を増してくるでしょうし、責務を果たして行かなければならないと考えます。」と訴えた。

### 【講演会】

講師は、遺愛女子高等学校出身の講師、田辺鶴瑛氏です。初めに「田中角栄ではございません。」で笑いを掴み、1時間半の『不まじめ介護で重荷を下ろして』の講演は、鶴瑛氏の3



### 【分科会】

大会2日目は市立函館高等学校と遺愛女子高等学校を会場に分科会が行われました。分科会のテーマとして「学校へ行こう！みんなが参加したいPTA活動について」「子どもの自立と親の子離れ」「特色教育とPTAの連携について」など、40の分科会に分かれて情報や意見の交換が行われた。それぞれの抱える課題を出し合う中で、時間が経つのを忘れるほど有意義な交流となった。

## 全道大会の広報誌展示



# 第66回全国高等学校PTA連合会大会千葉大会に参加して



北海道旭川工業高等学校PTA会長 嵐 孝典

## ● 開会式

第66回全国高等学校PTA連合会大会千葉大会は、8月25日(木)、26日(金)の両日、幕張メッセを主会場に、メインテーマは「再発見!愛」、サブテーマを「今こそ信じよう愛の絆」として、全国から約1万人が集い盛大に開催されました。

## ● 基調講演

開会式では、佐野元彦会長から、子どもたちの「自立支援者」としての活動を呼びかける挨拶に続いて、大木幸夫実行委員長からは、開催地千葉県の様々な魅力を紹介する歓迎の挨拶がありました。来賓からの森田健作千葉県知事自身の話として、「子どもの可能性を引き出す個性を認める言葉かけ」が印象に残りました。また、PTA活動に尽力された団体、個人の表彰は、全ての会員への励みとなりました。

## ● 分科会

また、PTA活動に尽力された団体、個人の表彰は、全ての会員への励みとなりました。

全国高P連研究発表、4つの分科会と2つの特別分科会によって行われました。実践発表、基調講演、パネルディスカッションなどがあり、第一分科会では、北海道を代表して「小さな活動が大きな支援に」をテーマに、恵庭北高校の



坂本覚会長が、学校行事の支援をおとしたPTA活動の成果について発表し、好評を得ました。坂本覚会長、大変お疲れ様でした。



## ● 記念公演

記念公演では、千葉県出身の女優、市原悦子さんが「私の選んだ女優の道」と題して、自身の生い立ちについて触れた講話と、グリム童話「ねずみの木のはなし」、野坂昭如さんの戦争童話集「凧になったお母さん」を朗読してくれました。

## ● まとめ

今回が初めてのPTA全国大会でした。この大会をおして、他都府県の方々と交流を持つことができた

こと、様々な活動について情報を得たことが成果でした。また、地域や学校の違いがあり活動も様々ですが、未来を担う子どもたちを力一杯支えようとする強い思いは共通でした。そして、「学校」「家庭」「地域」が連携し、子どもたちの「他を思う気持ち」を確かなものにするために、我々に何ができるのかを考えた2日間でした。大変有意義な時間を過ごせたことに、心から感謝いたします。子どもたちの未来のために、この大会の経験や成果をこれからの道高P連旭川支部や旭川工業高校のPTA活動に生かし、これからも一人ひとりの成長を支えて行こうと思います。



## 全国大会の広報誌展示



会長コラム



北海道高等学校PTA連合会  
会長 山本 富造  
(北海道石狩南高等学校PTA会長)

東日本大震災から5年の歳月が経過しましたが、4月には九州熊本地方を震源とする大地震が発生し、多くの方が被災されました。その後も余震が続くなど、現在も大変な状況が続いています。

道高P連は、被災された皆様に対して心からのお見舞いを申し上げ、一日も早い復興を願っております。さて、全道各地から道高P連大会・道南大会にご出席の皆様、こんにちは！昨年に続き会長を拝命いたしました山本でございます。

本日はお忙しい中、全国高P連会長、佐野元彦様、北海道教育委員会教育長、柴田達夫様、北海道高等学校長協会会長、大鐘秀峰様をはじめ、多くの方々のご臨席を賜り誠にありがとうございます。また、大会を主管する道南支部、高橋則行大会実行委員長をはじめ、実行委員の皆様には大会準備に大変

トピック  
「プロジェクトエクスションマッピング芸術祭」



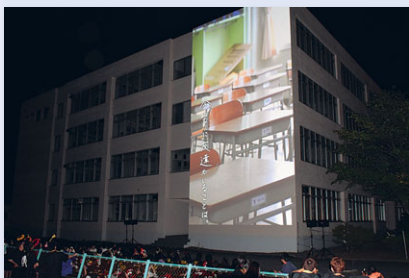
北海道釧路東高等学校  
PTA会長 越田 修 一

北海道釧路東高校の概要

本校は、昭和54年に開校した釧路町唯一の全日制課程普通科高校で、今年で開校38年目を迎えます。本校の校訓である「自主協調」「創意実践」「進取潑刺」のもと、教育目標である「何ごとにも大切に、まわりから大切にされる人間を育てる」を実践すべくPTAと共に実りある教育活動を実践しています。今回は、本校PTAが中心となり、道内高校で初めて取り組んだ「プロジェクトエクスションマッピング芸術祭」についてご紹介いたします。

実行委員会設立

きっかけは、生徒の発案からでした。この発案を耳にしたとき誰もが、時間的・資金的にも実現が難しいと考える中、PTA役員から「生徒の夢を叶えてあげたい」との声が上がり、瞬間にPTA、同窓会、後援会、さらに近隣の小中学校のPTA会長、地域の方々など支援の輪が広がりました。さらに学校のPRだけでなく地域の活性化につながる取組に発展させていくことを目的に、実行委員会を設立することになりました。いざ実行委員会設立に



向け動き出すと、学校・PTA・同窓会、商工会、教育委員関係者など多方面の方々が多乗りを上げてくれました。多方面からの参加を得たことが、様々な課題を迅速に解決する原動力にもなりました。今振り返るとPTA役員の迅速な働きで、地域と連携した実行委員会が結成できたことが成功への要因だったと思います。

第1回プロジェクトエクスションマッピング芸術祭

7月15日(金)行灯行列を終わつた午後7時45分から「第1回プロジェクトエクスションマッピング芸術祭」が開催されました。当日は、本校の放送局員の司会進行で始まり、越田修一実行委員長の後、2本の作品

が上映されました。一つ目は、「学校祭と私たちの未来」と題して、生徒たちがそれぞれのクラスメイトと協力して作品や出し物の出来映えを競っていく過程が丁寧にアニメーションと実写で表現された作品でした。もう一つは、「この町の未来、僕たちの未来」と題して、ふるさとや、友人と過ごす日常が一生続くものではないことに気付いた時、毎日を大切に懸命に生きることを大切に気付かされることを意図して、釧路の風景と人々の写真とシルエットの劇で表現された作品でした。そしてエンディング。約25分間の短いものでしたが、映像を見に来られた観衆は、生徒や学校関係者を含めて約

1600人を超えるという大盛況のうちに終了いたしました。

最後に

実行委員会の中で、ある役員の言葉を紹介して終わりたいと思います。その言葉とは、「生徒が作品を作り、その作品の中でふるさとへの新しい貢献の在り方を考え、作成のスキルを身につけるこのプロセスこそが「未来」へのキャリア教育につながるのではないか。」この言葉のように、今回の取り組みが単なる学校祭の一つのイベントにとどまることなく、学校・PTAと地域が創る「新しいキャリア教育」の形となるように今後も学校と共に取り組んでいきたいと思っております。

# 北海道高等学校PTA連合会 平成28年度 総会 報告

ご尽力いただきました。心から感謝と御礼を申し上げます。

さて、本連合会が昨年度に設立しました共済事業「北海道高等学校安全互助会」が2年目を迎えました。全道で約18万7千人を対象に共済事業を実施し、給付件数は2千2百件超、給付総額は3千6百万円にのぼっています。なお、幸いなことに学校管理下における死亡や障害の発生はありませんでした。今後とも皆様には一層のご理解ご協力のもと、助け合いの輪を広げていきたいと考えております。

今日、我が国では国際化、少子高齢化などにより、高校生を取り巻く状況は大きく変容しており、これらの変化に対応する上で、PTAの役割はますます重要視されています。本大会では、高生生の温かい支えになるという共通の思いを胸に、本音で、そして「まったり、ゆったり、ほっこり」しながら語り合います。そして、その成果を今後のPTA活動に活かされますようお願い申し上げます。

結びに、道高P連は引き続き関係団体と連携を保ち、「すべては、子どもたちのために!」を合言葉に全力で取り組みますので、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成28年6月 道高P連道南大会 会長挨拶から抜粋

日時 平成28年6月11日  
場所 函館国際ホテル

## 審議事項

### 第1号議案

平成27年度事業報告  
・事務局が会務報告と事業概要を説明。質問・意見等はなく、承認。

### 第2号議案

平成27年度収支決算報告  
・事務局が一般会計報告、各特別会計決算報告を説明。

### 第3号議案

平成27年度会計監査報告  
・洞野監事が「会則第10条第1項第4号の規定に基づき監査したが適正に執行されている」と報告。  
※第2、3号議案は質問・意見等はなく、承認。

### 第4号議案

北海道高等学校PTA連合会会則の一部改正案  
・事務局が提案説明。  
道高P連の「会員」は単Pという団体であり、単Pの「会員」は保護者や教職員という個人のことだ。しかし、会則で使われている「会員」という記述の中には、誤解を招きかねない箇所があるので、改める。

### 第5号議案

平成28年度役員改選案  
・洞野役員選考委員が第3回道高P連理事会の承認を得た9名の役員候補について会則第8条に基づき推薦。質問・意見等はなく拍手による承認。

①第9条の「支部会員」を「支部役員」にする。  
②第15条4項の「会員」を「単位PTA会員」にする。

※質問・意見等はなく、承認。  
※その後、議長が「審議事項ではないが関連する事項なので」と前置きし、会則施行細則等改正の報告を促した。そのため、事務局が報告事項として「すでに理事会で承認された会則施行細則、会計事務処理規程、事務局職員就業規程、表彰規程の一部改正」について説明。質問・意見等はなし。

### 第6号議案

平成28年度事業計画案  
・事務局が、研修事業、調査・啓発活動事業、健全育成事業、高校教育振興対策事業、表彰事業、広報活動事業、健康安全対策事業案と平成28年度の道高P連加入状況等組織の概要について説明し、

### 第7号議案

平成28年度収支予算案  
・事務局が、一般会計予算案、各特別会計予算案を説明し、質問・意見等はなく、承認。

### 第8号議案

平成29年度道高P連総会開催支部分会案  
・第67回全道大会案、開催支部分会案、空知支部、滝川支部、平成一〇日、11日

### 第9号議案

平成30年度道高P連総会開催支部分会案  
・第68回全道大会案、開催支部分会案、十勝支部

### 第10号議案

その他なし。  
※提案の「審議事項」はすべて承認。

## 平成28年度 北海道高等学校PTA連合会役員・理事等名簿

平成28年7月23日現在

No.	役職	所属	氏名	学校名	委員会	備考
1	会長	石狩	山本 富造	石狩南	一	全国：理事、進路対策副委員長 ★
2	副会長	石狩	新井田 寛	札幌月寒	健全育成	全国：健全育成委員会副委員長 ★
3	〃	〃	種田 千草	北科大高	総務	全国：調査広報委員会副委員長 ★
4	〃	〃	原 貴彦	札幌あすか	総務	北海道高等学校安全互助会担当 ★
5	〃	〃	福井 玲子	札幌新川	研修	全国：研修委員会委員 ★
6	〃	校長協会	大鐘 秀峰	札幌北	総務	北海道高等学校長協会会長 ★
7	監事	石狩	下山 春美	札幌東商	健全育成	
8	〃	〃	植松 洋二	札幌藻岩	研修	
9	〃	〃	山本 美加	札幌北陵	健全育成	
10	理事	石狩	山崎 千鶴	札幌稲雲	研修	研修委員長 ★
11	〃	〃	伊藤 公紀	札幌平岸	健全育成	道高P連石狩支部次期支部長
12	〃	道南	三浦由貴子	遺愛女子	健全育成	
13	〃	後志	谷口 雅史	岩内	健全育成	
14	〃	空知	山木 傑	滝川西	研修	平成29年度全道大会担当支部長
15	〃	旭川	川 嵐 孝典	旭川工業	総務	
16	〃	留萌	海東 剛哲	留萌	総務	総務委員長 ★
17	〃	名寄	大橋 直幸	士別翔雲	研修	
18	〃	北見	細川 秀樹	北見北斗	総務	
19	〃	十勝	鈴木 孝寿	帯広緑陽	研修	平成30年度全道大会担当支部長
20	〃	釧路	越田 修一	釧路	研修	
21	〃	根室	小野 哲也	羅白	健全育成	健全育成委員長 ★
22	〃	胆振	戸井 肇	室蘭清水	健全育成	
23	〃	日高	三浦 秀紀	静内	総務	
24	〃	校長協会	宮嶋 衛次	札幌手稲	研修	校長協会副会長
25	〃	〃	川口 淳	札幌南	研修	校長協会事務局長
26	〃	〃	廣田 定憲	北広島西	健全育成	校長協会副事務局長
27	〃	〃	政野 仁	岩見沢東	研修	校長協会空知支部長
28	〃	〃	小笠原 聡	石狩南	総務	道高P連会長校校長
29	〃	〃	嶋岡 裕泰	札幌稲雲	健全育成	道高P連石狩支部長校校長
30	〃	〃	恵子	札幌平岸	総務	道高P連次期石狩支部長校校長
31	〃	教頭・副校長会	家近 昭彦	札幌南	健全育成	教頭・副校長会会長 ★
32	〃	事務長会	永井 進	札幌東商	総務	公立学校事務長会会長 ★
33	〃	次期全道大会主催校	奈良 哲矢	滝川西	研修	平成29年度全道大会主催校教頭

★常任理事 ※敬称略

支部だより

知部  
空支

「身近な人と結ぶ信頼の絆を目指して」

北海道高等学校PTA連合会 空知支部長 山木 傑  
(北海道滝川西高等学校PTA会長)



空知支部は、空知総合振興局全域で現在、21校、22単Pで構成されています。平成28年、29年度は滝川西高校が担当校として皆さまのお世話になります。

5月28日(土)16時より滝川市にあるホテルスエヒロにて、北海道高等学校PTA連合会副会長、福井玲子様をご来賓としてご出席賜り北海道高等学校PTA連合会空知支部総会を99名の出席をいただき開催いたしました。小暮滝弘空知支部長、担当校PTA会長の開会挨拶に続き、北海道高等学校PTA連合会副会長福井玲子様のご挨拶をいただいた後、27年度事業報告、会計報告、監査報告、28年度事業計画(案)、予算(案)、空知支部役員(案)について承認されました。その後、

28年度各単P会員数・会費一覧表、北海道高等学校PTA連合会大会道南大会および全国大会、29年度第67回北海道高等学校PTA連合会大会空知大会について確認をいたしました。その他の議事で「高校生と語るつどい」についてと、安全互助会について北海道高等学校安全互助会常務理事であります福井玲子様より説明をいただきました。総会終了後は、同会場で北海道高等学校PTA連合副会長福井玲子様のご出席のもとで空知支部交流会が開催され、各単P紹介など懇親を深めることができました。

また、支部総会に先立ちまして、平成29年度第67回北海道高等学校PTA連合会大会空知大会第1回運営委員会が開催され、組織図、準備状況、今後のスケジュール、業務分担、予算案、大会メッセージ、全体講演会講師、業者選定、役員な



ど承認を頂きました。これにより大会主題「身近な人と結ぶ信頼の絆」のもと平成29年6月10日・11日に向けて準備を進めているところです。  
本年度より栗山高等学校より「チーム空知」のバトンを滝川西高等学校が引き継ぐこととなりました。「すべては子どもたちのため」の活動が本会の発展につながっていくと考えております。今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

高部  
日支

PTA活動の活性化を目指して

北海道高等学校PTA連合会 日高支部長 三浦 秀紀  
(北海道静内高等学校PTA会長)



日高支部は現在7校7単P(生徒数約1400名)で構成されており、今年度事務局が浦河高校から静内高校に変わりました。昨年度は支部総会及び第1回研修会を5月に開催し、第2回研修会を11月に開催いたしました。第2回の研修会では「高校生を取り巻く地域課題にPTAとしてどのような働きかけをしていくか」をテーマとして研修を行い、白老町教育委員会の野口良行先生をお招きして、自立した青年期を迎えるための関わり方についての講演をいただきました。参加された皆さんからは、「自分たちの頃とは違う時代になっており、この時代に合わせた関わり方が必要と改めて考えさせられた」「青年期を迎えるにあたって本人、そして、保護者が不安に感じるのは、どの家庭も同じであることがわか

り安心した」との感想が聞かれるなど充実した研修会となりました。  
今年度は、支部総会及び第1回研修会を道高安全互助会事務局次長の青陽哲也様にご臨席いただき、静内高校会議室において5月に開催しました。その中で平成28年度事業計画、会計予算及び役員改選などの承認をいただきました。総会の後行われた研修では、PTA活動の活性化をどのように進めているかについて話し合いました。決定打といわれる方策がない中、各校から学校祭でのPTAの取組や学年と保護者の連携についての発表があり、これからは各校工夫を凝らし、一歩一歩活性化を進めていくことが話し合われました。

今年度の第2回研修会は安全互助会のご支援もいただき、日本野球機構審判技術委員をされている山崎夏生様を静内高校にお迎えして、11月4日(金)に講演会を実施する予定です。多くの皆様にお集まりいた



だき、有意義な研修会にしたいと考えております。  
現在、JRH高線の運休に加え、8月の台風被害もあり、多くの皆様にご心配をおかけしておりますが、学習や部活動に一生懸命に取り組む管内の高校生の姿から元気をもらうことができます。北海道の中にあっても小さな支部ではありませんが、高校生に負けないようPTA活動に取り組んで参りますので、どうぞよろしく願いいたします。